

2025年3月17日

東日本旅客鉄道株式会社

秋葉原駅にて情報発信機能とエキナカ購買体験が進化します ～「AKIBA WARP」・「エキュート秋葉原」が開業～

- JR 東日本グループでは、ヒトの生活における「豊かさ」を起点として、リアルの交流拠点である駅の強みを活かしながら駅空間の配置と機能を変革し、駅を「交通の拠点」から「暮らしのプラットフォーム」へと転換する『Beyond Stations 構想』（2021年3月発表）を推進しています。
- モデル駅のひとつである秋葉原駅では、「AKIBA WARP」および「エキュート秋葉原」が2025年4月7日（月）に開業します。
- 駅型イマーシブメディア「AKIBA WARP」は、お客さまと企業、まちをつなぐ役割を担い、駅での新たな体験価値の創出とともに観光などの移動需要を喚起します。また、東京都によるキャップ&トレード制度などを活用し、CO₂排出量を実質ゼロにした「ゼロカーボンメディア」として運用します。
- 秋葉原駅では、エキナカ商業施設「エキュート秋葉原」、注文・受取サービス「JRE MALL オーダー」および多機能ロッカー「マルチエキューブ」を通じて、決済、レジ待ち、商品受取の3つの購買時間を短縮し、お客さまのタイムパフォーマンスを向上させることで、エキナカ購買体験を進化させます。

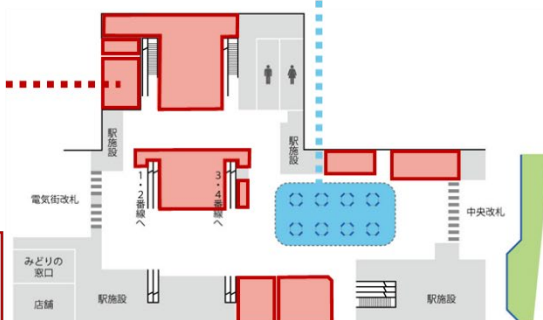


ecute
Akihabara

2025年4月7日開業

運営会社：株式会社JR東日本クロスステーション
デベロップメントカンパニー
店舗面積：約900㎡
店舗数：24ショップ（内1ショップは催事区画）

駅型イマーシブメディア「AKIBA WARP」
2025年4月7日開業



駅型ショールーミングスペース
「AKIBA“CAP”」
2024年4月1日開業済

『Beyond Stations 構想』における秋葉原駅 1階位置平面図

1. 秋葉原駅における情報発信機能の進化 ～「AKIBA WARP」の創造～

- ・先行開業した駅型ショールーミングスペース「AKIBA“CAP”」に加えて、新たな駅型イマーシブメディア「AKIBA WARP」を創造し、秋葉原駅の情報発信機能を質・量ともに進化させます。
- ・「AKIBA WARP」では、躍動感のあるコンテンツ放映とともに、一般社団法人千代田区観光協会と連携し、千代田区のまちの魅力を発信します。訪日観光需要の高い秋葉原駅において、千代田区を代表する観光スポットを紹介することで、お客さまと、まちをつなぎ、駅での新たな体験価値の創出とともに観光などの移動需要を喚起します。
- ・「AKIBA WARP」は東京都のキャップ&トレード制度などを活用し、CO₂排出量（年間 62t-CO₂）を実質ゼロにした「ゼロカーボンメディア」として運用します。

秋葉原駅における情報発信媒体

デジタルサイネージ計【約120㎡】

※ゼロカーボンメディアとして運用

（アキバワープ）

AKIBA WARP デジタルサイネージ【約60㎡】

縦約1.8m×横約1.0mの等身大サイネージを
8本の柱に4面ずつ、計32面配置した**駅型イマーシブメディア**

▶多面体に囲まれた映像空間を潜り抜ける体験が、異世界に繋がるワープゾーンのように感じられるメディアであることから、「AKIBA WARP」と命名

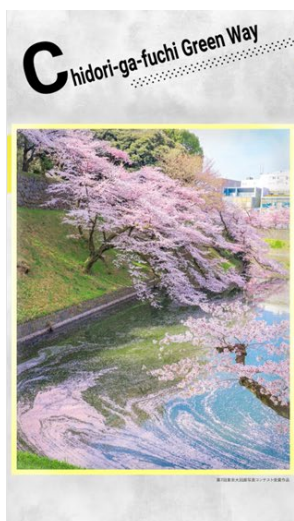
- ・0.9mmピッチの超高精細LEDサイネージを通じて、きめ細かい圧倒的な映像表現を実現。
- ・音声出力あり。
- ・デジタルサイネージ横の柱面や空間上部の壁、一部の床には、シート貼りも可能。

（アキバキャップ）

AKIBA“CAP” デジタルサイネージ【約60㎡】 商業空間 【約150㎡】

縦約1.9m×横約31.7mの大型湾曲サイネージと
商業空間から構成される**駅型ショールーミングスペース**

【まちの魅力発信映像（観光スポット紹介イメージ）】

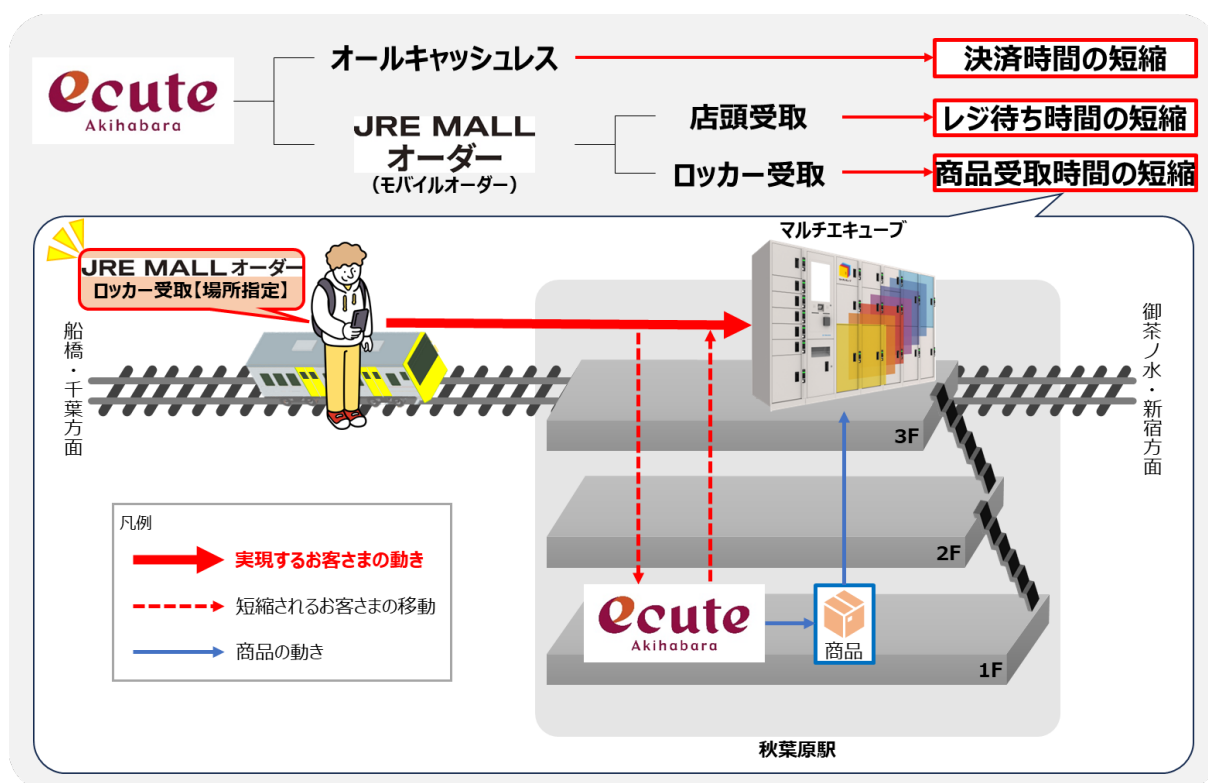


2. 秋葉原駅におけるエキナカ購買体験の進化

「エキュート秋葉原」、「JRE MALL オーダー^(※1)」、「マルチエキューブ^(※2)」を通じて、エキナカでの購買時間を短縮し、お客さまのタイムパフォーマンスを向上させます。

※1 「JRE MALL オーダー」は、2025 年 4 月にサービス提供開始予定の、モバイルオーダーを核とした、JR 東日本のエキナカ/駅ビル注文・受取サービスです。なお、サービスの詳細は、別途お知らせします。

※2 「マルチエキューブ」は、一台で 4 役の機能（予約・預入・受取・発送）を有する多機能ロッカーです。なお、秋葉原駅では、3 階 5 番線（中央・総武線各駅停車）ホーム上に新設予定です。



(1) 決済時間の短縮

「エキュート秋葉原」では、JR 東日本管内のエキナカ商業施設として初めて、施設内の支払方法をオールキャッシュレス化し、エキナカでの、よりスピーディーなお買い物を可能にします。

(2) レジ待ち時間の短縮

「エキュート秋葉原」では、2025 年 4 月中に一部店舗より、「JRE MALL オーダー」の店頭受取を開始します。

お客さまは、対象商品を事前に注文・決済の上、受取日時を指定することで、店頭でスムーズに商品を受け取ることができます。

(3) 商品受取時間の短縮

秋葉原駅では、2025 年 10 月以降、「JRE MALL オーダー」のロッカー受取により、「マルチエキューブ」で「エキュート秋葉原」の商品が受取可能となる新たなサービスを試験的に導入^(※3)します。

中央・総武線各駅停車をご利用のお客さま、秋葉原駅を乗換駅としてご利用のお客さまは、対象商品を事前に注文・決済の上、1 階店舗まで来店することなく、移動線上でスマートに商品を受け取ることができます。

※3 サービスの詳細は、別途お知らせします。

【参考】『Beyond Stations 構想』が目指す姿

ヒトの生活における「豊かさ」を起点として、リアルな交流拠点である駅の強みを活かしながら駅空間の配置と機能を変革し、駅を「交通の拠点」から「暮らしのプラットフォーム」へと転換する構想。

秋葉原駅はモデル駅の一つとして位置付けられており、社外パートナーと共創しながら、「駅のビジネス創発拠点化」を推進し、駅の持つ可能性をさらに広げ、新たな収益確保と価値創造を実現する。

Beyond Stations 構想「通過する」「集う」から「つながる」へ。



【関連するプレス】

2021年3月3日発表 JR 東日本「Beyond Stations 構想」の推進について

https://www.jreast.co.jp/press/2020/20210303_ho04.pdf

2023年10月16日発表 一台4役の多機能ロッカー「マルチキューブ」が稼働開始します！

https://www.jreast.co.jp/press/2023/20231016_ho01.pdf

2024年3月14日発表 秋葉原駅に大型サイネージ×商業空間一体型の駅型ショールーミングスペース「AKIBA“CAP”」が開業

https://www.jreast.co.jp/press/2023/20240314_ho03.pdf

※本プレスリリース内容は 2025 年 3 月 17 日現在の情報です。